



※ ペンネーム:めいみ

2026(令和8)年1月1日発行 第141号

伊深まちづくり協議会
ホームページ

<https://ibuka-machizukuri.com/>

【公式】Instagram
ibuka_machizukuri

ギャラリー伊深【公式】Instagram
gallery_ibuka



IBUKA_MACHIZUKURI

《新年のごあいさつ》

まちづくりに参加してください

伊深まちづくり協議会 会長 小林喜典

新年明けましておめでとうございます。

まちづくり協議会のいろんな活動に対して、町民の皆さんにはご理解とご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。

令和7年は凧揚げ大会からスタート。皆さんから集まった鯉のぼりの設置、いぶカフェ4周年記念でマルシェを開催。軽トラ市場、いぶいぶひろばでの野外コンサート。小学校児童、保育園児とサツマイモ栽培、米づくり。

旧櫻井邸では皿やお椀などを作る工房(伊深でカルチャー)=IBUCAL(イブカル)が1周年記念でオープンイベント開催。

ホテルコンサート、実行委員会主催の盆踊り大会、夏休み学童クッキング。お月見コンサートを開催。

ごはん研究会はイベントがある毎に食べ物を提供。

秋のいぶカフェマルシェ、軽トラ市場で農産物や骨董品を販売。木工製品も人気でした。また秋フェスタも同時に行われ、味ごはん、うどん、ポップコーンやわた菓子、こども映画会、こども餅なげ、展示(書道教室、編物教室、保育園、小学校)などをしました。12月には募集した30人が参加して「年越しそば」を打ちました。

また、伊深には江戸時代、年貢の減免と農民の救済策を江戸幕府に直訴し、三十人以上が処刑された『伊深義民』という過去があります。その歴史について研究し『えげんさん』のような後世に伝承したい本を作成したいと考えています。また、「昔の写真」持ち寄り懇話会を昔の食を食べながら開催しました。

この他に、市が行う澁澤寿一先生を講師とする「みのかも里山なりわい塾」にも協力。1年間多くの活動を行ってきました。

それぞれのイベントを開催して思う事は、伊深をPRしているわけですが、地元の方の参加が少ない事です。役員も高齢化しています。伊深のため、住みやすい地域にしたい思いですが、7年は全国で山林火災が発生。阪神大震災から30年。東日本大震災から14年。そしてクマ被害相次ぐ。

伊深で火災、災害が発生した場合、誰が守ってくれるでしょうか？

まちづくり協議会は伊深のほとんどの団体の集まりです。

一部の人がやるわけではありません。

皆さんといっしょになって住みよい伊深を作っていきます。

令和8年は明るい年にしたいですね。

どうぞ本年もよろしくお願いいたします。



報告

まち協視察研修 昨年度行けなかったワラビーランドへ

今後のまちづくりのヒントを得ました！

11月29日(土)にまち協メンバー他21人が、美濃市のワラビーランド等を視察しました。

昨年度は大雪のため行けず、今年度は日程を早めて実施しました。ワラビーランドは、和紙づくりに欠かせないきれいな水のある美濃市蔵生にあります。IBUCALの障子や襖を、ワラビーランドの手漉き和紙職人 千田崇統さんが手掛けられたご縁があり、いつかは工房へというメンバーの願いが叶いました。宿泊施設を兼ねている主屋は、障子、襖はもちろん、壁紙も、ランプシェードも、カーテンも、椅子になる小さなキューブも、「これも和紙なの？」と驚くほど、いたるところに和紙が活用されていました。とことん和紙にこだわり、和紙の可能性に対する信頼や誇りが感じられました。

その後には、関鍛冶伝承館等を訪問しました。刃物の伝統技法や歴史について視察し、ハサミや爪切りにも最新の技術が生かされている事など、ここでも関の刃物に対する信頼や誇りを感じま



した。伊深のまちづくりも、これまでの歴史を大切にしながらも、常に新たな取り組みを試行錯誤しながら、誇りをもって楽しいまちづくりをしていけると良いのではとヒントをいただきました。



報告

里山なりわい塾のお手伝い

「みのかも里山なりわい塾」の第2回目が12月6日に開催されました。お天気に恵まれIBUCALの屋外で酒向一旭さんの指導により、みそづくりを体験。伊深のみそだれで作った五平餅を提供しました。講師の澁澤寿一氏のお話の後、会場をいぶカフェに移して当協議会小林会長と福田副会長から伊深のことについてもお話をさせていただきました。



報告

伊深小学校で焼き芋大会

1・2年生が6月に苗挿しをした紅はるかを、10月に収穫して、11月27日(木)に下町おやじの会等のメンバーが、伊深小学校にドラム缶で作った窯を2台持ち込み、焼き芋大会を行いました。全校児童と、教職員、学童の皆さんにも喜んでもらえました。

楽しい時間が持てて、嬉しかったです。



報告

子ども育成会のクリスマス会にえんねパンをプレゼント

12月14日(日)に子ども育成会のクリスマス会が開催され、当協議会から昨年度と同様にえんねパンをプレゼントしました。

前日13日に、ごはん研究会メンバー5人と小学生1人が参加して4ホール(80人分)を焼きました。喜んでもらえて嬉しいです。



今後の予定

●1月・2月に以下の事業を実施する予定で進める(一部協力する)ことにしました。

- ・1月17日 みのかも里山なりわい塾(担当:市まちづくり課)
- ・2月1日 風あげ大会(ぜんざいのふるまい有り)

生活の中で、何かお困りごとはありませんか？

ごみだしなど、ちょっとしたことならお手伝いさせていただきます。遠慮なく、各地区の「(ちょっとたのお輪)連絡員」または下記にご相談ください。

080-1561-4013



伊深まちづくり協議会だより 第141号

2026. 1. 1発行 (毎月1回1日発行)

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局 美濃加茂市伊深町927-1

伊深交流センター内

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで

